

令和8年度「学部学生による自主研究奨励事業」募集要項

【人間科学部】

1. 事業概要

■事業の目的

学部学生の独創的かつ意欲的な自主研究を奨励することを目的とします。

■研究活動実施期間

令和8年7月1日（水）～12月15日（火）

※予算執行可能期間も令和8年7月1日（水）～12月15日（火）とする。

■自主研究奨励費・・・最大20万円

2. 人間科学部 募集方針

素朴な疑問を抱き、それをもとに新たな知を発見することはとても意義のあることです。自分自身で考えて、その問題に対する答えを発見していくことは、人間の理解につながっていきます。身の回りの身近なことから社会的な問題、グローバルな課題まで、自身の疑問や関心を元にテーマを設定して取り組む自主研究を歓迎します。

※アドバイザー教員が人間科学部の教員の場合、人間科学部以外の学生でも応募可能です。

※学部1～2年生、グループでの申請を歓迎します。

3. 申請方法

■応募資格

- ・学部1年～3年の個人またはグループ

※同一人物が個人・グループで重複して申請することはできません。

※学部4年次以上、大学院生は代表、共同研究者になることはできません。

- ・アドバイザー教員が、人間科学研究科の教員であること

- ・本研究活動の成果をもって、人間科学部自主研究成果発表会、全学選抜自主研究成果発表会（人間科学部最優秀研究受賞者が対象）へ参加することを承諾すること

- ・研究費の適切な執行ができること

■募集期間

令和8年4月1日（水）～5月15日（金）

■募集テーマ

- ・人間科学に関するもの

- ・ただし、当該研究が「卒業にかかる単位を修得するための研究」（卒業研究等）でないこと

■提出書類

- ・様式2 令和8年度「学部学生による自主研究奨励事業」申請書・研究計画書

※特に予算計画（「研究費の使用明細」）は、アドバイザー教員の指導を受けて完成させてください。

■書類提出期限・・・令和8年5月15日（金）15時 厳守

■提出先・・・人間科学部教務係

4. 選考結果の発表

令和8年6月下旬

※教育改革推進室にて審査の上選考します。

※選考結果の通知はメールにより行います。

※採択された研究は、大学 HP に公表（研究テーマ、研究代表者及び共同研究者所属・氏名、アドバイザー教員所属・氏名）します。

5. 予算計画（「研究費の使用明細」）および経費の管理・執行方法について

■本研究は大学の予算で行われるものです。研究上、必要だと思っても、様々な規則により支出ができないものがあります。申請書に示す予算計画は、アドバイザー教員の指導を受けてください。計画には、様式3「経費使用の手引き（人間科学部）」「研究費の使用明細」の記載に関する注意事項を熟読の上、研究全体にかかる費用を記入してください。また本研究費による支出と他の支出（例：私費、指導教員の研究費等）の区分がわかるように示してください。予算計画も審査の対象です。

■採択後の経費の管理、執行については、様式3「経費使用の手引き（人間科学部）」に基づき、適切に行ってください。また判断できない場合は、（購入後に研究費からの支出ができないことがないように）事前にアドバイザー教員または会計係に相談するようにしてください。

6. 研究成果の報告等

■研究成果報告書・実績報告書の提出

提出期限・・・令和8年12月18日（金）17時 厳守

提出先・・・人間科学部教務係

提出報告書・・・様式6「学部学生による自主研究奨励事業研究成果報告書」

様式7「学部学生による自主研究奨励事業実績報告書（収支決算報告書、支出内訳書）」

※詳細は様式4「研究成果報告書・実績報告書の提出について」を参照してください。

■研究成果発表会の実施

日程・・・令和9年1月～2月（予定）詳細は、決定後対象者に通知します。

場所・・・吹田キャンパス 人間科学部内

※最優秀研究に選抜された研究グループについては、令和9年度いちよう祭開催日（予定）に実施する「全学選抜自主研究成果発表会」に出場していただきます。全学選抜自主研究成果発表会の詳細は後日お知らせします。

7. 個人情報の取扱い

■申請書に記載された個人情報にかかる事項については、「学部学生による自主研究奨励事業」にかかる業務において使用します。

■「学部学生による自主研究奨励事業」に採択された際には、「学部学生による自主研究奨励事業」及び本学の広報活動等を目的として、研究テーマ、所属学部・学科、学年、氏名及び活動報告等を公表することがありますので、予めご了承ください。

8. 留意事項

■申請にあたっては、研究上の指導及び奨励費の執行をしてもらうアドバイザー教員の設定が必要となります。指導を受けたい教員へ自身の研究内容を説明し、様式10「先生方への協力をお願い」を添えて、アドバイザー教員を引き受けてもらえるよう依頼してください。

■一人の教員への申請の集中を避けるため、近接領域の他の教員を紹介場合があります。

■本事業により海外渡航をする場合は、「留学生危機管理サービス（OSSMA）」への加入、及び海外渡航届システムの利用を義務付けます。

※詳細は「様式 9_海外渡航に際しての留学生危機管理サービス(OSSMA)への加入及び海外渡航届システムの利用について」を参照してください。

9. 問い合わせ先

担当係： 人間科学部教務係人間科学部本館 2 階
連絡先： 06-6879-8012
E-mail: kyomu@hus.osaka-u.ac.jp

10. 実施

人間科学研究科教育改革推進室